

関西経理専門学校【通信】2025年度 講義要項

科目名	学年	担当講師名	開講期間
計算実務 I・II	1年	多田正幸	前期 I 後期 II
講義の目的および概要			
計数感覚を高め企業の経営活動を計数的に把握し、これを効果的に活用するための能力を育てる。			
講義のテーマ			
商業活動に必要な計算を合理的・能率的に処理するための知識と技術を習得し、経営活動に役立てる能力を身につける。			

月	授業展開・ライセンス取得および指導要領	検定試験の種類	講義形式 学習形態	備考
4	単利法に関する計算、利息・元利合計の計算 元金・利率・期間を求める計算		スクーリング ※遠隔者：集中講義	
5	売買損益に関する計算、商品価額の計算、割引料に関する計算、 割引日数の計算、満期日の求め方、割引料・手取金の計算		スクーリング ※遠隔者：集中講義	
6	度量衡の計算、外国貨幣の計算、純量代価計算、買付委託・仲立 人の手数料の計算		スクーリング ※遠隔者：集中講義	
7	全経計算実務検定 2級受験に対する実践指導、前期試験		スクーリング ※遠隔者：集中講義	
8	夏期休暇		※集中講義	
9	全経計算実務検定 2級受験に対する実践指導		スクーリング ※遠隔者：集中講義	
10	複利の計算、複利終価および複利利息、複利年金の計算	全経計算実務検定 2級	スクーリング ※遠隔者：集中講義	
11	複利年金現価の計算、年賦金の計算、積立金の計算		スクーリング ※遠隔者：集中講義	
12	債権及び株式の計算、減価償却及び財務分析の計算		スクーリング ※遠隔者：集中講義	
1	全経計算実務検定 1級受験に対する実践指導、後期試験	全経計算実務検定 1級	スクーリング ※遠隔者：集中講義	
2			※集中講義	
3				

評定方法			
出席	30 %	定期試験	%
レポート	30 %	その他 (スクーリング、単位修得試験)	40 %
指定教科書		参考図書	
・計算実務 1級直前模試 英光社 ・計算実務 2級直前模試 英光社			
学習上の留意点		必要教材(使用予定機材)	
新しい単元の講義を行い、演習問題を反復していくので、授業中集中して一問でも多くの問題に取り組むこと。			
学生からの質問受付E-mailアドレス(可能な場合のみ)		備考欄	
		実務家教員授業単位数：教養一般4単位時間	
授業担当者の実務経験について			
大手商社勤務後、貿易会社や学習塾の経営を経験し、起業を志す若者支援を目的として多田正幸税理士事務所を設立し、代表税理士として活動する。特に、小規模な新設法人や若者の起業支援が得意分野で、多くの顧問先を有している。			